

日々の感謝を忘れずに ～SAJ教育支援ツアー～



お客様からのプレゼント ポップコーン作り

皆様こんにちは。日本はまだまだ厳しい寒さが続いていると思いますが、カンボジアも朝と夜は冷え込み、水浴びが辛い時期になりました。

子どもたちは去年1年間を振り返り、今年の抱負を書きました。職員は子どもたちの健康と、それぞれの抱負が守れるように願います。

さて今回のドリーム通信では、子どもたちの今年の抱負、また1月に行われたSAJ教育支援ツアーの様子についてお伝え致します。

2017年 今年の抱負

新年を迎え、去年自分が書いた抱負がしっかり守れていたか、そしてどんな1年だったのかを振り返り、子どもたちと職員が今年の抱負を書きました。

去年書いた抱負通りに1年間クラスで1位を取り続けることが出来た子、保母さんのお手伝いを頑張り、保母さんからいつも頑張っていると褒めてもらえた子もいました。

しかし、中には去年書いた抱負を忘れてしまっていたり、小さい子の面倒を見ると書いた子が、小さい子を驚かし、泣かしたりしている子もいました。

子どもたちが書いた今年の抱負は「クラスで1位を取る」「英語の勉強を頑張る」等の勉強に関することを書いている子が多かったです。他には、「小さい子を愛しよく面倒を見る」「友だちを大切にする」「健康に気を付けて過ごす」などと書かれていました。そして、高校3年生は全員「卒業試験に合格する」と書かれていました。高校卒業試験は年々難しくなり、去年園からも卒業試験に落ちてしまった子もいました。厳しい現実を目の当たりにした今年の高校3年生が、抱負に込めた思いはとても強いものです。

職員は子どもたちが去年よりも一歩、また一歩と成長していくことを願い、自分自身で決めた抱負を常に意識し、今年精一杯やりきってほしいと思います。



今年の抱負、何にしようか悩んでいます



「クラスで良い成績を取る」タツ・スレイモイ(小2)

SAJ教育支援ツアー



久しぶりの再会に笑顔が弾けます



伝統楽器の新チーム 力が入っています



日本 vs カンボジア お互いの勇姿を讃えます



高校3年生 それぞれの進路を報告

1月5日～7日の3日間SAJ教育支援ツアーが開催され、6日と7日に渡邊代表理事（以下「代表理事」）とお客様が来園されました。代表理事との久しぶりの再会、里親様やお客様の来園に子どもたちは自然と笑顔がこぼれます。歓迎式では、今回お客様に披露するのが初となる新チームによる伝統舞踊と伝統楽器を披露しました。練習では楽器と踊りのタイミングが合わず、お客様が来園する直前まで練習をしていましたが、本番に強い子どもたち、最後まで集中し今まで集中し今までで一番の仕上がりを披露することが出来、お客様から大きな拍手をいただきました。昼食ではスン・ティダー（中1・女）と里親様が一緒に食事、初めは恥ずかしそうにしていたのですが、途中から甘える様子も見え、会いに来てもらったことが本当に嬉しかったということが伝わってきました。

昼食後は園内をご案内、子ども部屋にて代表理事から部屋での過ごし方、裏の畑ではグループごとにどんな作物を育てているのか等について聞かれました。

お客様は子どもたちとサッカーをして遊んで下さり、ミニ試合ではお客様率いる日本チームが勝利、子どもたちから木で作った手作りのトロフィーを手渡しました。子どもたちにとって一緒に遊んでくれることは何より嬉しいこと、お客様と良い汗を流し、とても楽しい時間を過ごしました。

代表理事による学年別カウンセリングを実施、一人ひとりに園での生活や勉強について聞き、アドバイスをしてくださいました。特に中学3年生から高校3年生には卒業試験や進路についての話をしていただきました。「今年園を卒業した先輩たちも自分自身で進路を決め、それぞれの道を進んでいった。自分が今どれだけ頑張れるかで、これからの人生が大きく変わっていく。今からしっかりと勉強を頑張るように」と激励の言葉をいただきました。

また代表理事から何か要望があるかと聞かれた子どもたちは、「またイオンに遊びに行きたい」と答えると、代表理事から「今度来た時に皆を連れていく。でもその代わり毎日しっかり勉強を頑張る事」を子どもたちと約束しました。

今回のSAJ教育支援ツアーでは、代表理事やお客様とゆっくり時間を過ごす事が出来ました。

園に会いに来てくれることの喜び、日々支えてもらっていることのありがたさを感じられたのではないかと思います。

子どもたちには周りの方々に与えてもらうだけではなく、これからは日々支援して下さっているたくさんの方々に元気を与えられるように、明るく優しい子になってほしいと思います。